

# 改定版 設計者のための 建築免震用積層ゴム支承ハンドブック講習会

主催 一般社団法人日本免震構造協会 ・ 一般社団法人日本ゴム協会共催

免震建物も、阪神大震災、東日本大震災、熊本地震を経験し、安全・安心を守る建築構造として定着。積層ゴムはその構造を支える重要な部材。刊行後 17 年を経て全面改訂。西敏夫（東大・東工大名誉教授）、高山峯夫（福岡大学教授）監修による両協会の最強専門家が執筆。免震建物の国内・海外の最新動向から積層ゴムの最新技術情報までを解りやすく解説。構造設計者とゴム技術者のベテランから初心者まで、すぐに活用できる必携の書！ ☆当日配付（参加費に含む）します。

日 時：2017 年 11 月 7 日（火）午後 13 時 00 分～午後 16 時 00 分

場 所：建築家会館 1 階 大ホール

住 所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-16

日本免震構造協会の隣の建物となりますので、<http://www.jssi.or.jp/>よりアクセスマップをご確認ください。

参加費：日本ゴム協会会員 日本免震構造協会会員 8,000 円(税込) 非会員 9,000 円(税込)

申込方法：日本免震構造協会ホームページ <http://www.jssi.or.jp/>より(10 月 3 日以降)お申込みください。(定員 70 名)

支払方法：当日受付にてお支払いください。(釣銭のないようにご協力お願いします)

問 合 先：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館 2 階

一般社団法人 日本免震構造協会 事務局

TEL 03-5775-5432 / FAX 03-5775-5434

## プログラム

1. 趣旨説明 13:00～13:10 可児 長英 (ハンドブック編集委員会 代表幹事)

2. 免震構造と積層ゴム支承 13:10～13:50 (40 分)

講師：芳澤 利和 (ハンドブック編集委員会 代表幹事)

第 1 章 (免震構造)、第 2 章 (免震構造の歴史と現状)、第 3 章 (ゴム材料)、第 4 章 (積層ゴム支承)、第 5 章 (積層ゴム支承の設計)

免震構造の原理と考え方、東北大震災と熊本地震での免震効果及び免震構造の歴史と現状の代表的な建物の紹介。さらにはゴム材料特性と積層ゴム支承の種類とその設計法について本書の内容を分かりやすく紹介。

3. 積層ゴム支承の力学的特性と耐久性 13:50～14:30 (40 分)

講師：和氣 知貴 (オイレス工業)

第 6 章 (積層ゴム支承の力学的特性)、第 7 章 (積層ゴム支承の経年変化)、第 8 章 (積層ゴム支承のクリープ)

各種積層ゴム支承の代表的な力学的特性、ゴムの経年変化および促進劣化試験法の解説と積層ゴム支承のクリープ変化における実験と実建物での長期計測結果の紹介。

休憩 14:30～14:40 (10 分)

4. 積層ゴム支承の品質管理、施工・維持管理と耐火性能 14:40～15:15 (35 分)

講師：芳澤 利和 (ハンドブック編集委員会 代表幹事)

第 9 章 (積層ゴム支承の製造と品質管理)、第 10 章 (積層ゴム支承の耐火性能)、第 11 章 (積層ゴム支承の施工における留意事項)、第 12 章 (積層ゴム支承の維持管理)、第 13 章 (積層ゴム支承の環境負荷と廃棄)

積層ゴム支承の製造方法と品質管理、積層ゴム支承施工時の留意事項や長期使用における維持管理さらには火災を想定した耐火性能を紹介。

5. 積層ゴム支承の材料認定と標準化 15:15～15:50 (35 分)

講師：鈴木 重信 (ブリヂストン)

第 14 章 (積層ゴム支承の材料認定)、第 15 章 (積層ゴム支承の標準化)、第 16 章 (原子力施設への免震技術活用の動向) 積層ゴム支承の材料認定における要求性能と基準値の関係、さらには積層ゴム支承 JIS の内容を解説し、将来的な原子力発電への応用展開の動向を紹介。また設計者が疑問に思う事項を Q&A 方式で詳しく解説。

6. 質疑応答 15:50～16:00 (10 分)